

# 平成30年度 地方創生交付金関連事業評価・検証調書

I. 交付金対象事業		種別	<input type="radio"/> 加速化交付金	<input checked="" type="radio"/> 広域		
			<input checked="" type="radio"/> 推進交付金	<input type="radio"/> 単独		
① 国への申請事業名	<b>もうかる農林水産業の実現に向けた「とくしまブランド」戦略</b>					
(広域連携自治体)	徳島県、小松島市、阿波市、那賀町、松茂町、北島町、板野町					
② 取組内容・目指す姿	本県の農林水産業を力強く成長させ、将来にわたり発展させ、将来を担う若い生産者が意欲を持って従事することができる産業へ発展させる。	担当課	農林水産課			
		事業期間	平成28年度～32年度			
II. 事業内容						
③ 本市における実施事業名	④ 事業概要					
6次産業化支援事業	・地元産品の開発補助および産直市などへの開発品の仕入れに繋げる。					
農林水産ブランドソフト事業	・本市特産の「はも」や「しいたけ」、「ちりめん」、「竹ちくわ」、「フィッシュカツ」などの知名度向上を図る。					
⑤ 事業計画(スケジュール)及び実施結果(予算・決算額・補助金)						
年度	事業計画	実施結果			予算・実績・補助金	
平成29年度	・6次産業化に向けた商品開発等支援 ・「こまつしまブランド戦略推進協議会」によるこまつしまブランド産品の販路拡大、海外展開、輸出支援	支援をした市内事業者等が行う商品開発の「とくしまブランド」のブランド力向上を図るため、こまつしまブランド戦略推進協議会が県内外で農林水産物の商談会、物販、および、PR出展をおこなった。			当初予算額	7,504,000 円
					実績額	6,626,137 円
					補助金額	3,313,068 円
平成30年度	・6次産業化に向けた商品開発等支援 ・「こまつしまブランド戦略推進協議会」によるこまつしまブランド産品の販路拡大、海外展開、輸出支援 ・6次産業化ネットワークの推進	・こまつしまブランド戦略推進協議会が県内外で物産品の販売等を行いPR ・6次産業化社会実験ラボ「こまつしまりピンクラボ」による6次産業化ネットワークの推進 ・シラス加工を中心にした6次産業化実現の検討会を開催			当初予算額	8,700,000 円
					実績額	8,132,193 円
					補助金額	4,066,096 円
⑥ 重要業績評価指標(KPI)		単位	H30			<広域連携自治体全体でのKPI> ・とくしまブランド推進機構が関与した5年間の総販売額 (H30目標値) 20億円 ・農林水産物等輸出入額の5年間の総増加額 (H30目標値) 7.1億円  ※県との広域事業であるため、本市のみの実績数については記載せず。
		基準値	目標値	実績値		
1	6次産業化商品件数	件	1	4	5	
2	6次産業化取り組み件数 (累計)	件	6	17	25	
3						
⑦ 官民協働・自立性						
市と農協および漁協などで組織する「こまつしまブランド戦略推進協議会」を中心に本事業の推進を図っている。						

### Ⅲ. 評価・事業効果および今後の方針

#### ⑧ 有識者会議の評価・検証結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業目的達成に向けては困難だと思うが、確実に前向きな動きにつながっていると思うので継続して事業を推進して欲しい。</li> <li>・KPIの達成状況から一定の成果があったと評価する。今後は6次産業化取組件数の中からの商品化件数、6次産業化商品の商談成立件数、販売額等についてフォローする必要があると認識する。</li> <li>・商品開発や既存商品の支援など、具体的な商品や販路開拓支援の内容を情報開示すると共に、各商品（体験商品なども含む）の売上前年比や取引増加実績などを明確にすべき。どのような商品に力を入れているかなどが周知されていない。県内外へのPRを強化すべき。県のブランド戦略目標に対し、小松島の貢献度を示すべき。</li> <li>・事業目的に賛同する1次産業従事者を増やし、「すそ野」を拡げる必要がある。</li> </ul>	外部組織による効果検証	
	A	<p>A. 地方版総合戦略のKPI達成に有効であった</p> <p>B. 地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えない</p>

#### ⑨ 交付金事業の地方創生への効果

有効性	②目指す姿・⑥KPIの達成に向けて効果があったか	B	6次産業化に取り組む事業者等とその商品開発や販路拡大の面で支援することにより、商品件数および取組件数の目標値を達成することができた。また一方で、県内外のイベント等において既存商品であるこまつしまブランド製品の販路拡大も行った。
事業効果	本事業の地方創生への効果	A	農林水産物の取り扱い事業者への働きかけだけでなく、6次産業化社会実験ラボ「こまつしまりんぐラボ」の活動などを通じて、6次産業化推進の働きかけを広く実施することができた。
今後の方針	事業拡大・継続・改善・事業廃止の方向性	A	既存商品のブランド力向上と6次産業化商品の開発によって、もうかる農林水産業を実現することができる。今後も本事業を推進し、地域経済の好循環化を目指す。

#### ⑨ 有効性の評価について

A	非常に大きな効果があった（指標数値が倍増など）
B	概ね目標を達成でき効果があった
C	一部目標を達成できず十分な効果が得られなかった
D	多くの目標を達成できず効果が低かった
E	未実施の取組みもあり効果がなかった

#### 事業効果の評価について

A	非常に効果的であった（全てのKPIが目標を達成するなど、大いに成果が得られた）
B	相当程度効果があった（一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られた）
C	効果があった（KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始以前よりも取組が前進・改善した）
D	効果がなかった（KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難い）

#### 今後の方針について

A	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
B	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等さらに発展させる）
C	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う、または行った）
D	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する、またはした）
E	事業の終了（当初の予定通り事業を終了する、またはした）

# 平成30年度 地方創生交付金関連事業評価・検証調書

I. 交付金対象事業		種別	<input type="radio"/> 加速化交付金	<input checked="" type="radio"/> 広域		
			<input checked="" type="radio"/> 推進交付金	<input type="radio"/> 単独		
① 国への申請事業名	<b>四国のゲートウェイを起点とした 「おどる宝島★とくしま観光・文化プログラム」発信戦略</b>					
(広域連携自治体)	徳島県、小松島市、鳴門市、徳島市、美馬市、三好市、海陽町、つるぎ町、東みよし町					
② 取組内容・目指す姿	徳島の強みを生かして交流人口の増加を図り、地域経済の活性化と雇用機会の拡大につなげる。	担当課	商工観光課			
		事業期間	平成28年度～32年度			
II. 事業内容						
③ 本市における実施事業名	④ 事業概要					
客船入港歓迎事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島小松島港のうち本港地区および金磯地区、赤石地区に入港する国内外の大型客船の乗船客を対象に、本市で滞在してもらえる観光メニューの開発ならびに情報発信を行う。</li> </ul>					
観光・イベント振興事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿波遍路道を歩き四国霊場をめぐる動機付けとともに、観光スポット以外の本市特有の歴史や文化、食、自然などの魅力を発信するツールづくりを行う。</li> </ul>					
⑤ 事業計画(スケジュール)及び実施結果(予算・決算額・補助金)						
年度	事業計画	実施結果			予算・実績・補助金	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客誘客に向けた受入環境整備</li> <li>・徳島東部地域DMO検討および着地型旅行商品の造成・販促</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クルーズ船(8隻)入港時に歓迎式典および特産品販売会を開催</li> <li>・外国籍クルーズ船(3隻)寄港時に岸壁にて特産品PR(試食・展示)及び市内無料シャトルバスの運行</li> </ul>	当初予算額	6,890,000 円		
			実績額	6,944,100 円		
			補助金額	3,445,000 円		
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クルーズ客船寄港拡大にむけた誘致・PRや歓迎イベントの開催</li> <li>・小松島体験型観光推進連絡協議会の立ち上げと着地型旅行商品の造成支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クルーズ船入港時に歓迎式典および特産品販売会を開催</li> <li>・小松島観光物産検討会を設置し、観光資源創出のワークショップを開催</li> <li>・はものブランディングWEBサイト制作や各種イベントでの普及促進</li> </ul>	当初予算額	18,000,000 円		
			実績額	18,066,051 円		
			補助金額	9,000,000 円		
⑥ 重要業績評価指標(KPI)		単位	H30			〈広域連携自治体全体でのKPI〉 ・5年間の延べ宿泊者の増加人数(基準値) 260万人 (H30目標値) 300万人 ・5年間の外国人延べ宿泊者の増加人数(基準値) 5万人 (H30目標値) 8万人  ※県との広域事業であるため、本市のみの実績数については記載せず。
		基準値	目標値	実績値		
1	年間観光客入込数	人	75万2千	79万4千	92万3千	
2						
3						
⑦ 官民協働・自立性						
地域振興を担う団体、企業、行政関係者等で組織された小松島観光物産検討会を設置し、観光資源の発掘や販売、担い手の育成、情報発信の強化により、持続的で効果的な観光振興を図る。						

### Ⅲ. 評価・事業効果および今後の方針

#### ⑧ 有識者会議の評価・検証結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・県や地域住民との連携のおかげで少しずつではあるが、クルーズ船を起爆剤に交流人口が増えていると思う。マーケティングの目でもって知恵を出し合いたい。お土産品や体験型の観光の商品が楽しみである。</li> <li>・国内外からの観光などにたくさん来られているので、その1人1人が良さを1つでも持ち帰って口コミで伝えてくれるととても大きなPRになると思う。何か工夫されたおもてなしが必要。</li> <li>・港を活用してのクルーズ船受け入れ事業は大いに賛成である。但し、観光である以上、小松島ならではの食の提供であったり、恩山寺・立江寺での短期間の札所巡り体験ができたりと色々と提案することができれば良い事業となると思う。</li> <li>・広域連携の中で小松島市が担う部分はどこなのかを明確にすべき。クルーズ船の停泊だけで満足せず。地元で経済効果のあるコンテンツが必要。最初のおもてなしに失敗すると客は二度と来ない。</li> </ul>	外部組織による効果検証	
	A	<p>A. 地方版総合戦略のKPI達成に有効であった</p> <p>B. 地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えない</p>

#### ⑨ 交付金事業の地方創生への効果

有効性	②目指す姿・⑥KPIの達成に向けて効果があったか	B	地域資源である港などを活かした取り組みとして、クルーズ船寄港やみなとマルシェ開催などにより本市への交流人口を増やし、地域経済の好循環化につなげる魅力発信ができた。
事業効果	本事業の地方創生への効果	A	クルーズ船乗船客に対し、特産品の販売など地元の強みを活かしたPRを行い、また、はものブランディングサイトの制作など、情報を広く発信する媒体を構築し、本市への交流人口増加の取り組みを推進した。
今後の方針	事業拡大・継続・改善・事業廃止の方向性	A	クルーズ船寄港拡大への働きかけや観光物産検討会による新たな観光資源の発掘等を行う本事業を継続的に推進し、効果的に観光振興を図っていく。

#### ⑨ 有効性の評価について

A	非常に大きな効果があった（指標数値が倍増など）
B	概ね目標を達成でき効果があった
C	一部目標を達成できず十分な効果が得られなかった
D	多くの目標を達成できず効果が低かった
E	未実施の取り組みもあり効果がなかった

#### 事業効果の評価について

A	非常に効果的であった（全てのKPIが目標を達成するなど、大いに成果が得られた）
B	相当程度効果があった（一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られた）
C	効果があった（KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始以前よりも取組が前進・改善した）
D	効果がなかった（KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難い）

#### 今後の方針について

A	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
B	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等さらに発展させる）
C	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う、または行った）
D	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する、またはした）
E	事業の終了（当初の予定通り事業を終了する、またはした）

# 平成30年度 地方創生交付金関連事業評価・検証調書

I. 交付金対象事業		種別	<input type="radio"/> 加速化交付金	<input type="radio"/> 広域	
		<input checked="" type="radio"/> 推進交付金	<input checked="" type="radio"/> 単独		
① 国への申請事業名	「こまっしまに住みたい人」応援事業				
② 取組内容・目指す姿	地域の取り組みを集約する移住定住ワンストップ窓口を設置し、移住希望者のニーズに応えられる体制を構築する。	担当課	秘書政策課		
		事業期間	平成29年度～31年度		
II. 事業内容					
③ 本市における実施事業名	④ 事業概要				
移住定住促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住定住ワンストップ窓口の設置について検討、その他設置準備を行う。</li> <li>・ 空き家の所有者の特定後、利活用の希望調査を行い、空き家の利活用を図る。</li> <li>・ 移住者が定住できるよう地域の体制を整える。</li> <li>・ 中高大学生など、若者が小松島市に誇りを持ち、愛着を感じることで、地域に定住する、一度転出して戻りたいと思えるよう支援を行う。</li> </ul>				
⑤ 事業計画(スケジュール)及び実施結果(予算・決算額・補助金)					
年度	事業計画	実施結果	予算・実績・補助金		
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 窓口設置検討会開催</li> <li>・ 空き家活用希望調査</li> <li>・ お試し移住できる物件調査</li> <li>・ 各地区代表者・民生児童委員等への意識調査</li> <li>・ 小松島市についての意識調査</li> <li>・ 講座開催等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 窓口設置の県内状況の把握、「とくしま移住交流支援センター」での相談対応について聞き取り</li> <li>・ 都市部での移住フェアへの参加</li> <li>・ 農業漁業体験</li> <li>・ 地区ごとの人口分析、人口推計についての成果報告講座開催</li> <li>・ リーサスを活用した中高生対象研修</li> </ul>	当初予算額	1,700,000 円	
			実績額	1,245,785 円	
			補助金額	622,892 円	
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住定住ワンストップ窓口による移住に関する相談や情報発信</li> <li>・ 空き家バンクの設置及び情報提供</li> <li>・ 移住者受け入れ体制の整備</li> <li>・ 若者の地元定住意識への働きかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワンストップ窓口の開設</li> <li>・ 空き家バンクの創設</li> <li>・ 移住定住促進PR動画の作成</li> <li>・ 都市部での移住フェアへの参加</li> <li>・ 地域づくりワークショップの開催</li> <li>・ リーサスを活用した中学生対象研修</li> <li>・ 人口減少について考える小学生対象の授業</li> </ul>	当初予算額	10,600,000 円	
			実績額	8,915,333 円	
			補助金額	4,457,666 円	
⑥ 重要業績評価指標(KPI)		単位	H30		
			基準値	目標値	実績値
1	移住者数	人	15	25	240
2	移住定住ワンストップ窓口を利用して、移住した世帯数	世帯	0	3	0
3	空き家の利活用件数	件	0	1	4
⑦ 官民協働・自立性					
農業漁業体験、お試し移住など官民協働で行い、またワンストップ窓口は将来的には法人化することにより、民間と連携し地域活性化につながる事業を展開する。					

### Ⅲ. 評価・事業効果および今後の方針

#### ⑧ 有識者会議の評価・検証結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の周知の方法をもっと工夫すれば良いのでは。移住を増やすためのストーリーを地域の住民と一緒に描くべきと思う。地域の方の理解がないと難しいと思う。費用対効果が薄い事業と思うので、綿密な計画、課を横断した話し合いが必要と思う。手間がかかり大変だが、大変必要な事業である。</li> <li>・人口減少について考える小学生対象の授業等若者の地元定住意識への働きかけが人口減少抑制のためには有効であると思う。</li> <li>・実際に移住して来た人たちの小松島に対する感想や満足度などを知る必要があるのではないか。</li> <li>・情報の発信を充実する仕組みを構築しネットワークを広げ、単発の施策とならないようにする必要はあると思う。企業の県外採用との連携も有効ではないか。</li> </ul>	外部組織による効果検証	
	A	<p>A. 地方版総合戦略のKPI達成に有効であった</p> <p>B. 地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えない</p>

#### ⑨ 交付金事業の地方創生への効果

有効性	②目指す姿・⑥KPIの達成に向けて効果があったか	B	ワンストップ窓口の開設や空き家バンクの創設により、移住希望者のニーズに広く答えられる環境づくりができた。
事業効果	本事業の地方創生への効果	B	移住PR動画の作成や都市部での移住フェア参加により、本市に住む魅力を情報発信することができた。また、地元の若者向けに人口減少に関する研修を行うことにより本市に定住する意識の醸成がされた。
今後の方針	事業拡大・継続・改善・事業廃止の方向性	A	本市への移住者が定住し続けるためには、地域の受け入れ体制を整えることが必須である。本年度地域づくりのワークショップを行ったことにより地域の人々にもその意識が生まれ始めており、引き続き事業を進め体制づくりを推進する。

#### ⑩ 有効性の評価について

A	非常に大きな効果があった（指標数値が倍増など）
B	概ね目標を達成でき効果があった
C	一部目標を達成できず十分な効果が得られなかった
D	多くの目標を達成できず効果が低かった
E	未実施の取り組みもあり効果がなかった

#### 事業効果の評価について

A	非常に効果的であった（全てのKPIが目標を達成するなど、大いに成果が得られた）
B	相当程度効果があった（一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られた）
C	効果があった（KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始以前よりも取組が前進・改善した）
D	効果がなかった（KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難い）

#### 今後の方針について

A	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
B	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等さらに発展させる）
C	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う、または行った）
D	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する、またはした）
E	事業の終了（当初の予定通り事業を終了する、またはした）

# 平成30年度 地方創生交付金関連事業評価・検証調書

<b>I. 交付金対象事業</b>	種別	<input type="radio"/> 加速化交付金	<input checked="" type="radio"/> 広域
		<input checked="" type="radio"/> 推進交付金	<input type="radio"/> 単独

① 国への申請事業名	徳島東部地域におけるDMOの推進		
(広域連携自治体)	徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市、阿波市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町、		
② 取組内容・目指す姿	DMOを設立し地域の「稼ぐ力」を引き出す観光地域づくりを戦略的に推進することにより、観光振興による地域活性化を目指す。	担当課	商工観光課
		事業期間	平成30年度～32年度

## II. 事業内容

③ 本市における実施事業名	④ 事業概要
徳島東部地域観光振興事業	・イーストとくしま観光推進機構への負担金を負担し、圏域内の観光資源を活用し観光地域づくりを進める

### ⑤ 事業計画(スケジュール)及び実施結果(予算・決算額・補助金)

年度	事業計画	実施結果	予算・実績・補助金	
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本版DMOの設置</li> <li>・DMOを司令塔とした戦略的なマーケティング(観光資源のデータ分析等)</li> <li>・情報発信の強化(WEBSITEの立ち上げ、SNSによる情報発信)</li> <li>・入込客増加に向けた活動(旅行博、商談会への参加)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イーストとくしま観光推進機構の設置</li> <li>・東部地域のモニターツアーの開催</li> <li>・観光コーディネーター養成講座の開催</li> </ul>	当初予算額	2,000,000 円
			実績額	2,000,000 円
			補助金額	1,000,000 円

⑥ 重要業績評価指標(KPI)	単位	H30			〈広域連携自治体全体でのKPI〉 ・5年間の延べ宿泊者数 (基準値) 178万人 (H30目標値) 181万人 ・5年間の徳島県東部圏域の観光入込客数 (基準値) 264万人 (H30目標値) 269万人
		基準値	目標値	実績値	
1 年間観光客入込数	人	75万2千	79万4千	92万3千	※広域事業であるため、本市のみの実績数については記載せず。
2					
3					

徳島東部地域DMOを設立し、市町村、民間企業等が連携することにより、徳島東部地域が一体となった観光施策に取り組む。

### Ⅲ. 評価・事業効果および今後の方針

#### ⑧ 有識者会議の評価・検証結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信を強化して、観光の流れの中で目に止まり、再度足を運んでみたいと思うようなインパクトのあるものが必要。</li> <li>・H30年度の事業計画における実施結果からは、実績値の効果が不透明。「稼ぐ力」を引き出す観光地域づくりを推進するのであればその経済効果の目標設定も必要ではないか。</li> <li>・イースト徳島の活動がわかりにくい。ホームページを見ても小松島の発信量（力）の少なさが気になる。</li> <li>・実施結果・内容については一定の評価をするが、本事業内容の類の成功には中長期的な展望に立ち継続した事業活動を行う必要があるため、引きつづき本事業の推進に期待したい。</li> </ul>	外部組織による効果検証	
	A	A. 地方版総合戦略のKPI達成に有効であった  B. 地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えない

#### ⑨ 交付金事業の地方創生への効果

有効性	②目指す姿・⑥KPIの達成に向けて効果があったか	B	DMO設立により、徳島東部エリアの観光資源を活用し観光地域づくりを進めていく基盤が整備された。
事業効果	本事業の地方創生への効果	A	DMO設立により東部地域の市町村の観光情報等が効果的に発信されることにより、観光客の選択肢が増え東部地域については本市への交流人口の増加につながる。
今後の方針	事業拡大・継続・改善・事業廃止の方向性	A	イーストとくしま観光推進機構を中心として戦略的な観光地域づくりの推進を行っていく。

#### ⑩ 有効性の評価について

A	非常に大きな効果があった（指標数値が倍増など）
B	概ね目標を達成でき効果があった
C	一部目標を達成できず十分な効果が得られなかった
D	多くの目標を達成できず効果が低かった
E	未実施の取り組みもあり効果がなかった

#### 事業効果の評価について

A	非常に効果的であった（全てのKPIが目標を達成するなど、大いに成果が得られた）
B	相当程度効果があった（一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られた）
C	効果があった（KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始以前よりも取組が前進・改善した）
D	効果がなかった（KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難い）

#### 今後の方針について

A	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
B	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等さらに発展させる）
C	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う、または行った）
D	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する、またはした）
E	事業の終了（当初の予定通り事業を終了する、またはした）

# 平成30年度 地方創生交付金関連事業評価・検証調書

<b>I. 交付金対象事業</b>	種別	<input type="radio"/> 加速化交付金	<input type="radio"/> 広域
		<input checked="" type="radio"/> 推進交付金	<input checked="" type="radio"/> 単独

① 国への申請事業名	地域における人材確保力の強化推進事業		
② 取組内容・目指す姿	新たな職場の創出や地元企業への就職を推進することにより労働人口の増加を目指す	担当課	商工観光課
		事業期間	平成30年度～32年度

## II. 事業内容

③ 本市における実施事業名	④ 事業概要		
雇用創出事業	勤務先情報等の共有や合同就職説明会の開催し本市への人材の還流、流入を促進する。 新規雇用創出奨励金を補助する。		
中小企業振興事業	中小企業の抱える経営・雇用等諸問題への支援として、地域企業支援セミナーを開催するなど、中小企業の振興を行う。		

### ⑤ 事業計画(スケジュール)及び実施結果(予算・決算額・補助金)

年度	事業計画	実施結果	予算・実績・補助金	
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者と求職者の雇用に関する課題解決を考えるワークショップ等の開催</li> <li>・就職ガイドブックの作成</li> <li>・中途採用マッチングイベントの開催</li> <li>・新規企業誘致・Uターン人材の確保に向けた調査等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所向け採用力強化セミナーの開催</li> <li>・保護者向け就職セミナーの開催</li> <li>・26事業所による合同就職説明会の開催</li> <li>・6事業所を巡る事業所見学バスツアーの開催</li> <li>・地元高校でのキャリア支援授業</li> </ul>	当初予算額	11,100,000 円
			実績額	10,445,219 円
			補助金額	5,222,609 円

⑥ 重要業績評価指標(KPI)	単位	H30		
		基準値	目標値	実績値
1 就職面接会への参加者数	人	137	140	346
2 就職面接会による就職者数	人	25	29	81
3 新分野等誘致企業数	社	1	1	2

### ⑦ 官民協働・自立性

市・商工会議所・金融機関・農協・大学・事業者等、地域経済に関わる代表者が広く集まる協議の場を設置し、地域全体の取り組みとして雇用対策に取り組んでいく。地域全体で、市内事業所と新卒者及び中途採用者との接点を創出していく。

### Ⅲ. 評価・事業効果および今後の方針

#### ⑧ 有識者会議の評価・検証結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所向け採用力強化セミナーや保護者向け就転職セミナーの開催により市外への流出抑制に有効であったと思う。</li> <li>・市内企業と連携した就職説明会をはじめとする事業計画における実施結果は非常に有効であると思う。今後は県外広報（イベント開催等）の強化も含め、情報の発信の充実を図っていくと良い。</li> <li>・地元高校生による事業所見学や、事後のプレゼンなど市民に事業所をしてもらいたい試みだと思う。市外も含め参加高校の数を増やすなど、今後の活動に期待する。</li> <li>・高校生などの若手人材育成は重要。企業との協働や取材など、地元企業を知る機会を創ることは、効果的なマッチングに繋がる。ぜひ継続してほしい。</li> </ul>	外部組織による効果検証	
	A	<p>A. 地方版総合戦略のKPI達成に有効であった</p> <p>B. 地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えない</p>

#### ⑨ 交付金事業の地方創生への効果

有効性	②目指す姿・⑥KPIの達成に向けて効果があったか	A	合同就職面接会や事業所見学のバスツアーの開催により、求職者に広く市内事業者の情報提供ができたことで、新規就職者の増加につながった。また、学生やその保護者にも市内雇用関連情報を提供することにより市内事業者の認知度および魅力向上を図ることができた。
事業効果	本事業の地方創生への効果	A	企業誘致による新たな職場の創出や、事業者への採用力強化セミナーの開催時に、雇用における環境整備への働きかけを行うことで労働人口確保に努めた。
今後の方針	事業拡大・継続・改善・事業廃止の方向性	A	人口減少の進展に伴い、地方の労働力不足は今後も深刻なものと想定される。引き続き関係機関と連携を取り、雇用対策を地域の課題として本事業を推進していく。

#### ⑩ 有効性の評価について

A	非常に大きな効果があった（指標数値が倍増など）
B	概ね目標を達成でき効果があった
C	一部目標を達成できず十分な効果が得られなかった
D	多くの目標を達成できず効果が低かった
E	未実施の取り組みもあり効果がなかった

#### 事業効果の評価について

A	非常に効果的であった（全てのKPIが目標を達成するなど、大いに成果が得られた）
B	相当程度効果があった（一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られた）
C	効果があった（KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始以前よりも取組が前進・改善した）
D	効果がなかった（KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難い）

#### 今後の方針について

A	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
B	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等さらに発展させる）
C	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う、または行った）
D	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する、またはした）
E	事業の終了（当初の予定通り事業を終了する、またはした）